

内容評価基準3 ページのレイアウトと再利用可能なコンテンツの適用

以下はこの内容評価基準カテゴリの中からレッスンを抜粋したものです。これらのレッスンがすべて自信をもって操作できるようになってから、次の内容評価基準カテゴリに進みましょう！

※各レッスンに該当するファイルを開いてレッスンを行って下さい。

Lesson 5 9 (P122)

次の操作を行きましょう。

- (1) 「280」と「ppm」の間の空白を削除し、改行しないスペースを挿入してください。

Lesson 6 0 (P124)

次の操作を行きましょう。

- (1) 文書のハイフネーションを「自動」に設定してください。

Lesson 6 1 (P124)

次の操作を行きましょう。

- (1) 1 ページ目の文頭に空白のページを挿入し、「快適生活冊子」と入力してください。
- (2) 2 ページ目の「《参考》表1」が次のページの先頭になるように、改ページを挿入してください。
- (3) 4 ページ目の改ページを削除してください。

Lesson 6 3 (P127)

次の操作を行きましょう。

- (1) 1 ページ目の「受講者の立場になって」から2 ページ目の「私語をつつしむ」の「休憩時間などの…」までの段落を2 段組みにしてください。
- (2) 段の幅を 18.5 字に変更して、すべて同じ幅にしてください。
- (3) 1 ページ目の「身だしなみ」が右側の段の先頭から始まるようにしてください。

Lesson 6 5 (P130)

次の操作を行きましょう。

- (1) 文書に設定されているテーマの色を「アーバン」、テーマのフォントを「エグゼクティブ」、テーマの効果を「クール」に変更してください。
- (2) 設定したテーマを「部会資料」という名前を付けて保存してください。

Lesson 6 8 (P135)

次の操作を行きましょう。

- (1) 文書パーツのテキストボックス「年報ー引用」を挿入してください。文書の引用文や注目すべき個所の要約に「直角三角形の直角を挟む2辺の2乗の和は、斜辺の2乗に等しい」と入力します。
- (2) 「次のように表すことができる。」の2行下に、文書パーツの数式「ピタゴラスの定理」を挿入してください。

Lesson 7 1 (P138)

次の操作を行きましょう。※この Lesson では、学習前にブックを開いておく必要はありません。

- (1) 文書に「部外秘」という文字の透かしを挿入してください。フォントはMSPゴシック、色は「項青、テキスト2、白+基本色40%」にします。

Lesson 7 2 (P140)

次の操作を行きましょう。※この Lesson では、学習前にブックを開いておく必要はありません。

- (1) 星の絵柄のページ罫線で囲ってください。ページ罫線の線の太さは18ptにします。

※各レッスンに該当するブックを開いてレッスンを行って下さい。

Lesson 7 5 (P145)

次の操作を行きましょう。

- (1) ヘッダーに組み込みのパーツ「標準」を挿入してください。文章のタイトルは「インストラクタの技術」とし、本日の日付を挿入します。
- (2) フッターに組み込みのパーツ「標準」を挿入してください。

Lesson 7 8 (P147)

次の操作を行きましょう。

- (1) ヘッダーに「快適生活冊子 Vol. 8」を挿入してください。
- (2) ページの下部に「番号のみ1」のページ番号を挿入してください。
- (3) 1ページ目にヘッダーとフッターが表示されないように設定してください。

Lesson 7 9 (P148)

次の操作を行きましょう。

- (1) ヘッダーの位置を上から25mmに設定してください。
- (2) フッターの位置を下から12mmに設定してください。